

森茂追悼作品展

(解答編)

表紙出題 出題図 神無太郎 虫食い算

$$\begin{array}{cccccccccc} & + & & + & & + & & + & & + & & + & & + & & + \\ = & + & & + & & + & & + & & + & & + & & + & & + \end{array}$$

解答

$$\begin{array}{l} 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 \\ = 9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 \end{array}$$

正6

解説・小峰耕希

はじめに

作家の皆様のお陰で、森茂さんの追悼に相応しく重厚な中・長編作品が揃った作品展。

言い方を変えればマニア向けの作品が揃った訳で、解答者数をちょっと心配していたのですが、結果的には9名という事で、作品数に続いて杞憂に終わりました。有り難うございます。

解答者は次の方々です（解答到着順、敬称略）。

小林看空 橋本孝治 真T 伊達悠 隅の老人B

北村太路 たくぼん 冬眠蛙 市村道生

市村さんは郵便解答。締切り間際の解答依頼で申し訳ないような状況でしたが、各作品に丁寧にコメントして下さっただけでなく、スペシャル級の難解作に正解する等、かなり助けて頂きました。

伊達 遅くなってしまい、ギリギリです。すみません・・・それでは解答を。でも時間節約のために、少し解答を短めにします。

内容を見る限り大丈夫そうでしたので、コメントのあった7題全て正解扱いにしました。

解説 表紙出題

橋本 表出数が一つもない、いわゆる「完全虫食い算」ですね。詰将棋で言えば、無仕掛図式でしょうか。「解図時間 = を数える時間」ですが、たまにはこんな遊びも必要。森氏も年賀状などでは「戯作」を見せてくれました。

橋本さんの仰る通り「完全虫食い算」が狙いなのですが、「虫食い過ぎ算」と呼んだ方が良いかも？

解答者の反応はかなり割れました。

市村 上段はMin下段はMax、文句なしの完全作です。

真T 初めて虫食い算を解きました。初めてにはこれくらいの難易度がベストです。

伊達 四角の数を数え、考える。解答が見える。この時間8秒。みえみえといえはそれまでですが、こういう感じで虫食い算の可能性が増えていくのかも。

このように完成品である点や取っ付き易さを買う意見が多数派でしたが、

北村 最小と最大。さすがにこれは個人的には低評価。原材料レベルでしょう。先に $(+) \times (+) \times \dots = \dots$ を見ているせいかもしれません。

やはりパズル性の弱さは否めないようです。

冬眠蛙 何も制限がなくて限定できているのが狙いでしょうか。やさしすぎるような気がします。

「何も制限がなくて限定できている」がこの人の代名詞ですね。

解説 Aコース

A1 たくぼん

協力詰 51手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
角										四
角	金	金	金	金	銀	銀	銀	銀		五
鋸	香	香	香	香	桂	桂	桂	桂		六
	歩								王	七
飛										八
王										九

持駒 歩9

正8

18歩 27玉 28歩 37玉
 38歩 47玉 48歩 57玉
 58歩 67玉 68歩 77玉
 78歩 87玉 97飛 78玉
 98飛 77玉 97飛 68玉
 98飛 67玉 97飛 58玉
 98飛 57玉 97飛 48玉
 98飛 47玉 97飛 38玉
 98飛 37玉 97飛 28玉
 98飛 27玉 97飛 18玉
 98飛 17玉 97飛 27歩
 18歩 同玉 19歩 28玉
 98飛 17玉 18歩 迄 51手。

規則的な往復趣向。

作者 くるくる級です。

市村 初形の綺麗な飾り駒に、俄然、食欲が湧いて来ました。

たくぼんさんが手順を作り、太郎さんが整形を施した作品です(A2も同様)。

真T 87歩が邪魔駒なんですね。なかなか気づきませんでした。

87歩を放置すると、98飛が固定されてしまうために手が続きません。往路の目的はここにあります。

伊達 歩の連打はわかるが、その後に出現する玉鋸にびっくり。

こちらも17玉型で詰ませようとすると、40手台後半という見方によっては短縮出来そうな手数が掛かってしまい、早速落し穴第1弾に嵌る事になります。

では中央での詰上りを目指せば簡単なのかと言うと、そうでもありません。

市村 1筋での詰上りは無理と速断出来ましたが、それからが大変、苦吟の連続でした。

伊達 どの筋で詰めあげるのが一番手数が短いかを、レポート用紙に書き込んでまでして考えました。そのレポート用紙が先生に見つかった（授業中にしていたわけではないのでご安心を。）「これ何？」説明するのに四苦八苦。説明しようとするると案外難しいものですね、これは。

結局57・77に歩を発生させて67玉型で詰めるのですが、57歩合をするためには一旦47玉型にする事が必要で、よって往路で前もって5筋の歩だけ突いておく事が必要になるという伏線が入っているのです（落し穴第2弾）。

途中図 11手目58歩 迄

角										
角	金	金	金	金	銀	銀	銀	銀		
銀	香	香	香	香	桂	桂	桂	桂		
				王						
飛	歩	歩	歩	歩					歩	
王					歩	歩	歩			

持駒 歩2

まだあります。普通に追うと一歩不足！（落し穴第3弾）

橋本 7段目の2枚の歩合で壁を作るのは予想できたのですが、8段目

の歩合で1歩を稼げるというのが意外と盲点で、かなり考えさせられました。この手順に何枚もの紛れのヴェールを被せれば、森氏本人の作と見紛うような作に発展させられる素材だと思います。

担当はこれに引っ掛かって降参してしまったという...

途中図 30手目68歩 迄

角										
角	金	金	金	金	銀	銀	銀	銀		
銀	香	香	香	香	桂	桂	桂	桂		
				歩						
飛			歩	王	歩				歩	
王			歩			歩	歩			

持駒 歩

見た目以上に難所が多く、殆どの解答者が苦戦した本局ですが、例外が1名。

真T A1を解いてる時に考えた詰上がりだったのですぐ解けましたが、それでも58歩の味はいいですね。

A1で悩んだ成果か（笑）

詰上図 41手目68歩 迄

角										
角	金	金	金	金	銀	銀	銀	銀		
銀	香	香	香	香	桂	桂	桂	桂		
			歩	王	歩					
飛			歩	歩					歩	
王				歩		歩	歩			

持駒 なし

ところで本局には1つ触れておかなければならない点があります。

実は初形の48と68の歩は紛れ専用の配置なのです。
 ただ本局の場合“破調の強調”という大義がありますし、あった所で然程気にならないと思われる（実際解答者からの指摘は無かった）ので、減点以上の付加価値があると見て良いでしょう。

A 3 小林看空

協力詰 91手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			王	マ	マ														一
				マ	マ			王											二
歩	歩	歩	歩	歩															三
																			四
	歩		歩																五
																			六
																			七
																			八
																			九

持駒 歩7

正7

- 72歩 81玉 71歩成 91玉
- 92歩 82玉 81と 72玉
- 71と 同玉 72歩 81玉
- 71歩成 同と 91歩成 82玉
- 81と 72玉 71と 82玉
- 81と 92玉 91と 82玉
- 92と 71玉 72歩 同と
- 82と 同と 72歩 81玉
- 71歩成 91玉 81と 92玉
- 91と 同玉 92歩 81玉
- 91歩成 71玉 81と 72玉
- 82と 61玉 71と 62玉
- 61と 72玉 71と 82玉
- 81と 92玉 91と 82玉
- 92と 71玉 72歩 61玉
- 71歩成 62玉 61と 72玉
- 62と 同と上 82と 61玉
- 72と 51玉 62と 同と
- 52歩 61玉 51歩成 71玉
- 72歩 81玉 71歩成 91玉

- 92歩 82玉 81と 同玉
- 91歩成 71玉 61と 82玉
- 81と 72玉 71と右 迄 91手。

「姫」シリーズ最新作。

北村 - 必死にと金をはがすも手数オーバー。全部はがさなくてもいいのかとも思ったのですが、実際にどう詰ますかはよくわからず。

市村 6筋に2歩禁で、作品の風格、難解度が格段に昇華。素晴らしい名作。

今回は6・8筋の二歩禁を利用しでの凝ったと金剥しが見所です。

橋本 5手目から14手目の手順を第一感で指せる人間は地球上に存在しないと思う。と金と歩だけで、この妙手順を紡ぎ出した手腕は正に驚異的傑作です。

たくぼん 5手目8一と以下追ってしまい苦しみました。9二歩が打ち難い1手。詰上りの型は予想できるのになかなか91手では収まりませんでした。しかしこの形から91手とは素晴らしい。

72歩92歩 81玉の形を作って、71歩成～91歩成以下1枚剥せる。

などと気付くのは後からで、折角の拠点を消すかの如きこの序奏は不利感抜群。大変好評でした。

中盤にも幾つかポイントはありますが、全て書くと大変なので飛ばしまして、76手目の局面。

ここが最後の分かれ道です。72歩以下62とを壁として利用しつつ収束するのが正着なのですが、61と以下惰性で剥し過ぎると迷宮入りです。

隅の老人B 解図の一日目は、詰上がり図をいろいろ考える。二日目も思い浮かばず。三日目に、これかな？に向かって、闇雲流の開始。解答書きには、途中の手順は忘れるし（ボ

ケ) 一週間の難苦行、愛用の駒もすり減った。

途中図 76手目71玉 迄

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		王		と					一
				マ			王		二
歩	歩	歩	歩	歩					三
									四
		歩		歩					五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩2

詰上図 91手目71と右 迄

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		と	と						一
			王	マ			王		二
歩	歩	歩	歩	歩					三
									四
		歩		歩					五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

真T なぜ解けたのか分からないのですが解けてしまいました。当たり前と言えば当たり前なのですが、限定されているのがすごいですね。

伊達 手順より何より、まずこれが唯一解だということに驚きます。そして6五と8五に歩を配置したことによって歩を全部使ったということに驚きます。題名について、「森姫」というのは森氏を意識したということ・・・なのかなあ？

作者(解答時) 森姫図式で大満足。太郎さんアドバイスありがとうございました。

「アドバイス」とあるように、本局は数度の改訂を経て出題図が生

まれました。その過程がなかなか面白いので、当時のやりとりと合わせて収録致します。

小林 森茂氏追悼作品『森姫』忘れないうちに投稿しておきます。100手越えたらまた考えますが、当面は保険をかけてこの作で。

協力詰 83手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		マ		マ	王	マ			一
		マ	マ					王	二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		三
									四
		歩		歩					五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩4

小林 『森姫』二手延びました。形は全然違いますが、こちらの方が形がいいのでこれで決定かな。

協力詰 85手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と		マ	マ	マ					一
	王	歩	マ	マ			王		二
歩	歩	歩	歩	歩					三
									四
		歩		歩					五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩4

小林 二手逆算しました。だんだんシンプルになってきました。面白いですね。

神無太郎 91とを持駒にすると91手になるようです。

協力詰 87手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と		王	マ	マ					一
			マ	マ		王			二
歩	歩	歩	歩	歩					三
									四
	歩		歩						五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩6

小林 なるほど。では の図(注、出題図)で。ますます面白いというか、不思議ですね。あと9手で100手越え!?

~~~~~

これをほぼリアルタイムで見る事が出来るのも担当の特権ですね。

先例紹介

加藤徹 詰パラ '72.06 非限定有協力詰 153手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 王 |   | マ | マ | マ | マ | マ | 皇 | 王 | 一 |
|   |   |   | マ | マ | マ | マ | 皇 | 王 | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 三 |
|   | 桂 |   |   |   |   |   |   | 皇 | 四 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 六 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 七 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 桂

“密室と金剥し”としては一番最初に発表された作品。非限定はありながらも行ける所まで行く辺りに、良くも悪くも時代を感じます。

神無七郎 詰パラ '96.12 協力詰 125手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 龍 | と | 爵 | 王 | 皇 | 皇 | 皇 | 皇 | マ | 一 |
| マ | マ | マ | マ | マ | マ | マ | マ | 歩 | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 三 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 四 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 六 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 七 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 なし

“1枚だけ残して収束”にも先例がありました。「第6回神無一族の氾濫」にて出題された七郎さんの作品です。序盤の技巧度では「森姫」の方が上でしょうか。

A4 神無太郎 協力千日手 56手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 一 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 二 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 三 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 四 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 六 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
|   |   | 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 王 |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 なし

正6

- 39銀 29玉 38銀 28玉
- 29銀 39玉 28銀 48玉
- 59銀 38玉 39銀 29玉
- 38銀 39玉 48銀 28玉
- 39銀 18玉 29銀 19玉
- 28銀直 18玉 19銀 29玉
- 38銀 39玉 28銀 48玉
- 39銀 59玉 48銀 68玉
- 59銀 79玉 68銀 88玉
- 79銀 98玉 89銀 99玉
- 88銀直 98玉 99銀 89玉
- 78銀 79玉 88銀 68玉

79銀 59玉 68銀 48玉  
49銀右 39玉 48銀 38玉 迄 56手。

**たくぼん** 趣向手順がいい感じです。  
森さんにちなんだ作品と言う気がします。

**北村** ばか千日手は苦手です。銀4枚も絡めて動かしては頭がくちゃくちゃに。うまく進んでいるのかどうか途中わかりづらいのもつらいところです。

理屈っぽく(というよりは担当の解図過程ですが)書いてみると、

最後の4手は、出題図から玉と48銀が入れ替わった形から、49銀右、39玉、48銀、38玉迄しかない。

更に逆算を試みると、68銀が左辺から玉を追ってきた可能性が高い。

という事は、順算で玉が左辺に行く方法を考えれば良い。

銀が2枚並ぶと“通せん坊”状態なので、一間空けて出動させるしかない。

78銀をいきなり動かすのは不可能なので、とりあえず48銀と68銀で右辺に追ってみる。

以下流れで作意順に辿り着く。

...でわかります？

**隅の老人B** 目的は元に戻すこと、創る方も、解く方も暇だね。良くやるよ。これが、率直な感想です。右辺から左辺へ、上手く出来ている、感心。

**市村** 銀2枚で1筋に追い込む手順は、心理的抵抗が強い。

**真T** なかなか玉が左に行ってくれず苦労しました。左と右で同じ手順を繰り返すのがいいですね。

ところで、森さんはネット上で次

のような作品を発表なさっていました。

森茂 JEWEL BOX #01

協力千日手 48手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 一 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 二 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 三 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 四 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 六 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
|   | 銀 |   | 銀 | 銀 | 王 |   | 銀 |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 なし

**作者** 投稿しておきます。もはや推敲しようがないので。JEWEL BOX #01の森さんの作品にインスパイアされてできたものです。

**伊達** 第一回ジュエルボックス第12番の発展？ それだったら、森氏にもお見せしたい作品ですね。5八銀が不動なのも同じだし。

**橋本** JEWEL BOX #01の森茂氏の作品を思い出させる作ですね。森氏もきっといろいろ試したはずですが、なぜこの形で出さなかったのか不思議です。左右対称の手順にこだわったからでしょうか？ 58銀が不動で、角でも良いという弱点も共通していますが、初形の美しさでは、本図に軍配を上げます。

いろいろな意味で故人を偲ばせる作品でした。

### Aコースまとめ

**橋本** 私見では、森氏の本領が最も発揮された分野は、協力詰・協力千日手・連続詰だと思います。今回の追悼作品展には連続詰系の作品はなかったわけですが、Aコースに協力

詰・協力千日手が揃ったことで、故人を偲ばせる本作品展の意図は成功していると思います。内容的にも充実していて、このコースの作品を解くだけでも、フェアリーの素晴らしさと、故人の残した足跡の大きさを感ずることが出来ると思います。

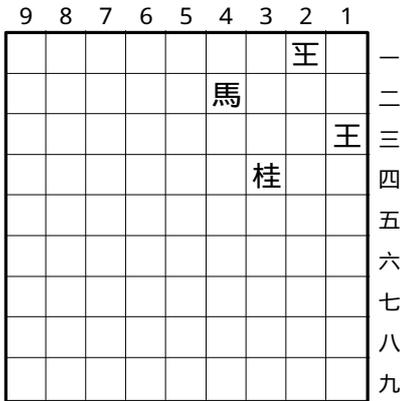
橋本さんは各コース毎に総評を書いて下さいました。有り難うございます。

【Aコース全解者】(6名)

橋本孝治 真T 伊達悠  
隅の老人B たくぼん 市村道生

解説 Bコース

B1 もず  
最悪詰 31手

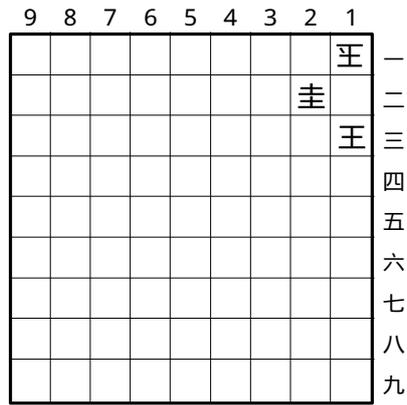


持駒 なし  
受方持駒 なし

正6

- 32馬 11玉 33馬 21玉
- 43馬 11玉 44馬 21玉
- 54馬 11玉 55馬 21玉
- 65馬 11玉 66馬 21玉
- 76馬 11玉 77馬 21玉
- 87馬 11玉 88馬 21玉
- 98馬 11玉 99馬 21玉
- 11馬 同玉 22桂成 迄 31手。

詰上図 31手目22桂成 迄



持駒 なし  
受方持駒 角

同一局面2回で千日手成立。細則は出題稿参照。

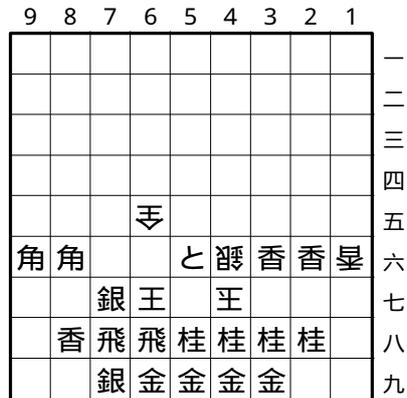
伊達 何も無い所へ行く馬鋸がいいです。手数も大きいヒントになりました。

北村 同一局面に戻れないために馬鋸になるというのが面白いと思いました。なんとか往復をとか考えるのですがこれがうまくいかないんですよ。

作者 森茂氏の作品を参考に最悪詰を作ってみようと思ったのですが、別の方へ展開してしまいました。詰パラ27番(注、詰パラ'01.09、103手)で千日手がらみの手順があるのでその部分に関係がある、というのは強引ですね。

森茂 詰パラ'01.09

最悪詰 103手



持駒 歩17

(中略)

ご覧になってわかるように、変化手順がほとんどない完全な原理図です。千日手ルールにより馬が同じ地点に来ないようにしなければならないので、馬鋸で遠ざかるしかなくなるという単純な原理です。本当は持駒に歩などを加えて合駒を出したりしたかったのですが、検討が追いつかなかったため、単純な図を出すことにしました。

もう一捻りあると本格的な作品に昇華しそうなんです。

小林 法則問題のサンプル。

真T こんな簡素な形から馬鋸が出てくるなんて嬉しくなっちゃいます。

たくぼん この作品があったのでスムーズに解図に入れました。1番バッテリーに最適でした。

隅の老人B ルールが、今一理解できない。

やはりルール説明が粗かったです。ごめんなさい。

橋本 同一局面2回で千日手の設定なので簡単に解けましたが、これが3回以上の設定だったら、最長経路探しが大変で、詰将棋というより数学の問題になっていたでしょうね。

ところで、千日手に関するルールの設定に関してですが、問題は千日手を利用することを隠そうとするから起こるのであって、千日手を利用することを明示すれば、何も問題は起こらないと私は思います。例えば次のように決めてしまってはどうでしょう？

千日手を禁手とする場合は、「千日手禁」と明示する。

千日手禁を適用する場合、特に指定がなければ、王手に限らず、すべての着手に千日手禁を適用する。特定の着手にのみ千日手禁を

適用する場合は、「攻方千日手禁」、「受方千日手禁」、「王手千日手禁」...、のように適用範囲を明示する。

千日手の成立条件は特に指定がなければ同一局面2回とする。それ以外の場合は、成立条件を明示する。

その他(他の禁手との優先度設定など)の条件がある場合は、それを明示する。

昔、千日手の条件が「同一手順3回」から「同一局面4回」に変わったとき、作意が成立しなくなった作品がありました。上のような設定にしておけば指し将棋の方のルールが例え変わったとしても、何ら影響を受けずに済むので、何の心配もなく千日手ルールの利用ができると思います。

貴重なご意見に感謝しつつ言い訳させていただきますと、出題稿の「各作品に関して」で敢えて注意を促したように、千日手利用を隠す意図はなく、「千日手禁」と明示するという発想が担当に無かったのが真相です。

## B2 北村太路

最悪詰 23手

|   |   |  |   |  |   |   |   |   |   |  |
|---|---|--|---|--|---|---|---|---|---|--|
|   |   |  |   |  |   |   |   |   |   |  |
|   |   |  |   |  |   |   |   |   |   |  |
|   |   |  |   |  |   |   |   |   |   |  |
|   |   |  |   |  |   |   |   | 皇 |   |  |
|   |   |  |   |  |   |   |   |   |   |  |
|   |   |  |   |  | 歩 | 金 |   |   |   |  |
|   |   |  |   |  | 歩 | 銀 |   |   |   |  |
|   |   |  |   |  | 香 | 桂 | 王 | 鯨 |   |  |
| 歩 | ? |  | ? |  |   |   |   |   | 王 |  |

持駒 飛角金銀桂香歩

正5

25角 47馬 38飛 69玉  
 58銀 同と 59金 78玉  
 69金 同と寄 79香 88玉  
 89歩 97玉 98歩 86玉  
 78桂 77玉 86桂 78金  
 同香 67玉 77金 迄 23手。

詰上図 23手目77金 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 一 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 二 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 三 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 皇 | 四 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 角 | 五 |
|   | 桂 |   | 歩 | 金 |   |   |   |   | 六 |
|   |   | 金 | 王 | 銀 | 皇 |   |   |   | 七 |
| 歩 |   | 香 | 桂 | ? |   |   | 飛 |   | 八 |
|   | 歩 |   | ? |   |   |   |   | 王 | 九 |

持駒 なし

87玉は、88歩、97玉、89桂。  
 78飛合は、同香、67玉、97飛で2手  
 長駒余りとなり、“玉方最善”に反  
 する。

小林 一式持駒を買う。

橋本 いやー、このルールでいきなり  
 持駒一式の使用駒趣向が見られると  
 は思いませんでした。明らかに「試  
 作」のレベルを越えていて、ひょっ  
 としたら将来「最悪詰ブームの発端  
 となった作品」とか呼ばれるかもし  
 れません。

と、某一族絶賛の本局ですが、

真T 持駒7種の最悪詰。初手が広すぎ  
 ると思ってたらよく見たら王手がか  
 かってました。

たくぼん 7種持駒と言う条件はか  
 なり厳しいようで、手順がややぎこ  
 ちない感じですが、十分楽しめまし  
 た。

という意見も。

そして一番辛口なのは勿論...

作者 終盤の持駒桂香歩から逆算し

て持駒金銀桂香歩になり、それだっ  
 たらとさらに無理やり逆王手で持駒  
 一色にしました。最悪詰は攻方の選  
 択肢が狭い方がいいので、攻方持駒  
 の種類がたくさんあれば面白いだろ  
 うと思ったのですが、こんな絶対手  
 から入ったのでは価値0です。初手  
 に七種すべて打てる可能性があり、  
 そのうち一種が最長になるので正解  
 というのを創りたいのですが非常に  
 難しいです。

22手目の合駒が飛でも9七飛、7  
 七合、同飛までで2手長くて詰み、  
 ルール上は最善でないので不正解で  
 すが、できれば飛合できないように  
 したかったです。

各氏のコメントも見る限り、難条  
 件達成に最も近いのはこの人のよ  
 うです。

### B3 北村太路

最悪詰 61手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 一 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 二 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 王 | 三 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 四 |
|   |   | 歩 |   |   | 王 | ? |   |   | 五 |
|   | 角 | ? | 歩 |   | 皇 |   |   |   | 六 |
| 角 |   |   |   |   |   |   |   |   | 七 |
| 飛 |   | 飛 | ? | ? | ? |   |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 なし

全員正解

69角 58桂成 同角 47桂  
 同角 36桂 同角 25桂  
 同角 同と 26桂 15玉  
 27桂 16玉 28桂 17玉  
 29桂 28玉 78飛 68歩  
 同飛 58と上 同飛 48歩  
 同飛 38歩 同飛 19玉  
 18飛 同玉 19歩 27玉  
 28歩 26玉 27歩 35玉

36歩 46玉 47歩 56玉  
 89角 47玉 56角 48玉  
 98飛 88銀 同飛 78銀  
 同飛 68銀 同飛 58銀  
 同飛 同と 59銀 同と寄  
 49銀 同と左 39銀 同香成  
 37銀 迄 61手。

詰上図 61手目37銀 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 一 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 二 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 三 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 四 |
|   |   |   |   |   |   |   | マ |   | 五 |
|   |   | 歩 |   | 角 |   | 歩 |   |   | 六 |
|   |   |   |   | 歩 |   | 銀 | 歩 |   | 七 |
|   |   |   |   | マ | 王 |   |   |   | 八 |
|   |   |   |   | マ | マ | 早 | 桂 | 歩 | 九 |

持駒 なし

3種4連合の冒険作でしたが、いろいろな早詰がありました。以下に主要なものを列挙します。

PC検討で検出。

36歩 同角 25歩 A同角  
 同玉 17桂 34玉 35歩  
 44玉 45歩 54玉 75歩  
 87桂 同角 45玉 54角  
 55玉 47桂 66玉 96飛  
 76歩 同飛行 迄 25手。

A補足

15歩 同玉 27桂 16玉  
 25角 17玉 18歩 28玉  
 78飛 48銀 同飛 19玉  
 28銀 29玉 47角 38金  
 同角 同香成 19金 迄 25手。

小林さん指摘順。

36桂 同角 25桂 同角  
 同玉 17桂 16玉 28桂  
 27玉 19桂 38玉 78飛

68と 同飛 48と 同飛  
 同玉 49歩 47玉 48歩  
 46玉 47歩 55玉 56歩  
 45玉 46歩 56玉 89角  
 55玉 95飛 46玉 45飛 迄 35手。

68と 同飛 38銀 同飛  
 同玉 47銀 同玉 48歩  
 46玉 47歩 56玉 89角  
 以下作意還元。

特に が、歩連合の機構の破綻を意味している点で致命的。作者の希望も勘案して全員正解とさせて頂きました。

作者 森氏の四桂詰の作品(注、詰パラ'01.09、31手)からの連想で終盤の四銀連打合を思いつき、その後不完全な四歩連合、四桂連合をつけました。虫が良すぎたのですが、こうなればいいなという願望から検討が甘くなり皆様にご迷惑をお掛けしました。大変申し訳ありません。生飛角の威力がわかっていなかった、というか最悪詰のことがわかっておらず少しナメていた感があります。本当にすいませんでした。

森茂 詰パラ'01.09 早詰  
 最悪詰 31手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 角 | 角 | 一 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 二 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 三 |
|   |   |   |   | 飛 |   | 銀 | マ | 金 |   | 四 |
|   |   |   |   | 銀 |   |   | 銀 | 歩 | 歩 | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 王 |   | 六 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 七 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   | 王 |   |   | 九 |

持駒 なし

小林 四桂合など意欲作と思うが。

橋本 最初、桂の連合いにビックリ。  
最後は金追いに違いないと思ったの  
ですが、うまく繋がりませんでした。  
何とか詰めることはできましたが、  
作意の推測には失敗しました。

たくぼん 早詰作についてはかしこ  
では仕方ない部分もあるでしょう。  
ただ解答者側からいえば不詰ではな  
いので全員正解にする必要はないと  
思います。詰める順を書いてきた解  
答者を正解にすればいいのではない  
でしょうか？ すでに解いていたの  
に“早詰があったので全員正解にし  
ます”ではちょっと納得できない部  
分があるのも確かです。(私だけかも  
しれません)

ご意見感謝。前述の通り主要部分  
が潰れていたのですがこのような措置  
を取りましたが、正しい判断をし  
たのかどうか、僕自身も自信の無  
い所です。

改めて検討不足をお詫び致します。

#### B 4 北村太路

最悪詰 85手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   | 歩 |   |   |   |   |   |   | 一 |
|   | 歩 | 桂 | 歩 | 香 | 歩 |   |   |   | 二 |
|   |   | 桂 |   |   |   |   |   |   | 三 |
|   |   |   | 歩 | 歩 | 桂 |   |   |   | 四 |
|   | 歩 |   | 飛 | 香 | 歩 | 桂 |   |   | 五 |
|   |   |   | 銀 | 角 |   |   |   |   | 六 |
|   |   |   | 香 | 金 | 香 | 桂 | 桂 |   | 七 |
|   | 歩 | 桂 | 桂 |   | 金 |   | 桂 | 桂 | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩

正4

28金 同銀生 19歩 17玉  
18歩 16玉 17歩 15玉  
16歩 14玉 15歩 13玉  
14歩 同銀 12桂成 同玉  
11桂成 同玉 21歩成 同玉  
31香成 同玉 41歩成 同玉

44香 同角 42歩 51玉  
41歩成 61玉 51と 同飛  
71歩成 同玉 72歩 81玉  
71歩成 91玉 81と 92玉  
82と 同銀 84桂 93玉  
92桂成 94玉 86桂 同歩  
93圭 95玉 64歩 55角  
94圭 96玉 95圭 97玉  
96圭 98玉 97圭 99玉  
98圭 89玉 99圭 79玉  
89圭 69玉 79圭 59玉  
69圭 49玉 48金 同金  
59圭 39玉 49圭 29玉  
39圭 19玉 29圭 同銀生  
36香 37香 同角 18玉  
19香 迄 85手。

詰上図 85手目19香 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   |   |   | 桂 |   |   |   |   | 一 |
|   | 桂 |   |   |   |   |   |   |   | 二 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 三 |
|   |   |   | 歩 | 歩 |   |   |   | 桂 | 四 |
|   |   |   | 桂 | 歩 |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 銀 | 香 |   |   |   |   | 六 |
|   |   |   | 香 | 角 | 桂 |   |   |   | 七 |
|   | 歩 |   |   | 桂 |   |   |   | 桂 | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   | 桂 | 香 | 九 |

持駒 なし

で19歩は、同玉、36香、28歩以下。

橋本 今度は周辺巡り、しかも2手目  
の伏線付き！ 未開のルールで、大  
作や条件作を連発する最近の北村氏  
の創作力は往年の出口信男氏の域に  
迫っていると言っても過言ではあり  
ません。ちなみに私は最初解いたと  
ときには、64歩55角の応酬を見落と  
しました。手数表示がなければ誤解続  
出の作だと思います。

こちら意欲作だったのですが、  
PC検討の結果、想定外の手順で  
早詰んでいました。

同玉 74桂 83玉 82桂成  
 94玉 86桂 84玉 83圭  
 75玉 64歩 65歩 同飛  
 86玉 66飛 76歩 同飛  
 同玉 67銀 86玉 87歩  
 97玉 98歩 88玉 55角  
 66歩 同角 77歩 同角  
 89玉 78銀 同玉 79歩  
 87玉 88歩 98玉 99歩  
 同玉 87歩 88金 同角  
 89玉 99金 迄 83手。

**作者** こちらも中盤5五の飛が動き出せる展開でこうなっては詰まないだろうと検討を打ち切ったあとの部分で詰ませられる早詰がありました。申し訳ありません。

出題前に僕が気付いていれば良かった訳で、本当に申し訳ない限りです。

現在作者は修正を試みているそうです。B3よりはずっと可能性がありそうですが、手数が手数なので完全を証明するには相当時間が掛かりそうです。

また作意の意味付け自体が破綻した訳ではないので、B3のような措置は取りませんでした。

**たくぼん** ところどころにあるポイントが楽しい趣向。最悪詰の将来を期待させてくれる作品と思います。

**真T** 玉の周辺巡り、狙いがわかってからはすぐ解けましたが楽しめました。余詰めがあるとのことで残念です。

**小林** あれ二手長い。。数え間違い？銀生が最後に効いてくる。

で96玉、95飛、同玉以下作意に還元していたのが原因でした。惜しくも誤解。

**作者** 森氏の詰パラフェアリー初登場作が(注、詰パラ'72.12)ばか

詰周辺巡りだったようでしたので最悪詰で周辺巡りを創れないか取り組みました。

森さんは周辺巡りを好んで創作なさっていたようで、担当が把握しているだけでも3局あります。

森茂 詰パラ'63.6  
 かしこ詰 65手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 歩 |   | 歩 |   |   |   |   |   | と | 皇 | 一 |
| 歩 | 歩 | 歩 |   | 歩 |   |   |   |   |   | 二 |
|   |   | 桂 | 歩 |   |   |   |   |   |   | 三 |
|   |   | 角 | 皇 |   | と | と |   |   |   | 四 |
| 桂 |   |   |   |   | 皇 |   |   |   |   | 五 |
|   |   | 龍 |   |   |   | 皇 | 歩 |   |   | 六 |
|   | 皇 |   |   |   |   | 歩 |   | 香 |   | 七 |
|   |   | 銀 |   |   |   | 歩 |   | 香 |   | 八 |
|   |   | 桂 |   | 王 | 歩 |   |   |   |   | 九 |

持駒 金4

森茂 詰パラ'72.12  
 協力詰 73手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   |   | と | 歩 | 歩 | 歩 |   |   | 王 | 一 |
|   |   |   | 歩 |   | 歩 | 歩 | 歩 |   |   | 二 |
|   |   |   | 王 |   |   |   |   |   | 歩 | 三 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 歩 |   | 四 |
|   | 歩 |   |   |   |   |   |   |   | 金 | 五 |
| 皇 | 歩 |   |   |   |   | 香 |   | 歩 | 歩 | 六 |
| 皇 |   | 銀 |   | 歩 | 歩 | 銀 | 銀 | 金 | 歩 | 七 |
| 歩 | 香 | 歩 |   | 歩 | 歩 | 皇 | 香 | 皇 |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   | 皇 |   | 香 | 九 |

持駒 なし

### Bコースまとめ

**市村** 不慣れなルールなので、歯が立ちません。今回は、失礼いたします。

担当も不慣れ、どこかこのルールとは初対面同然で、解説の仕方がわからないのが大問題。実際変化紛れに殆ど触れてないし...

**橋本** 不完全作はあったものの、これだけ質の高い作品が出題されれば、

森茂 詰パラ '06.11 早詰  
協力自玉詰 94手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 歩 |   |   | 歩 |   |   | と | 銀 | 龍 | 一 |
| 歩 | 香 | 歩 |   | 銀 | 銀 |   |   |   | 二 |
|   | 歩 |   | 香 | 香 | 歩 | 香 |   | 王 | 三 |
|   | 桂 |   |   |   |   | 王 |   | 桂 | 四 |
|   |   |   |   |   | 歩 |   |   | 桂 | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   | 金 | 金 | 六 |
|   | 歩 | と | と | と | と |   |   | 金 | 七 |
|   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   | 金 | 八 |
|   |   |   |   |   |   | 歩 | 桂 | 歩 | 九 |

持駒 なし

誰もが最悪詰の持っている可能性の大きさを感じさせられるでしょう。散発的な例外を除いて、長い間省みられなかったこのルールですが、この特集をきっかけに大ブレイクしそうな予感がします。

Bコースは、橋本さんと作者のコメントの著しいギャップが印象的でした(笑)

【Bコース全解者】(4名)  
橋本孝治 真T 北村太路  
たくぼん

### 解説 Cコース

C1 神無七郎  
協力詰 1001手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 龍 |   |   | 金 | 銀 | 金 |   |   |   | 一 |
|   |   |   | 銀 | 歩 | 銀 |   |   |   | 二 |
| 馬 |   | 桂 |   | 桂 |   | 香 | 歩 |   | 三 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 |   |   |   | 歩 | 龍 | 四 |
| 王 |   |   | 桂 | 香 |   |   |   | 歩 | 五 |
|   |   | 歩 | 王 |   |   |   |   |   | 六 |
| 角 | 歩 | 桂 |   |   |   | 歩 |   |   | 七 |
| 龍 |   | 歩 |   |   |   | 歩 |   |   | 八 |
|   |   |   | 歩 |   |   | 歩 | 歩 |   | 九 |

持駒 歩6

正4

最初から作意手順を羅列してもわかり難いと思うので、持駒増幅機構と最終目的の2つに分けて解説する事にします。

### 1) 持駒増幅機構

本局の持駒増幅機構は、昨夏「第25回神無一族の氾濫」にて出題された森さんの作品が元になっています。

森茂 詰パラ '06.06  
協力詰 1965手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   |   |   | 金 | 銀 |   |   | 皇 | 一 |
|   |   |   |   | 銀 | 歩 | 角 | 歩 |   | 二 |
|   |   |   | 桂 |   | 桂 |   | 桂 |   | 三 |
| 龍 | 龍 | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   | 龍 | 四 |
|   |   | 歩 | 歩 | 皇 | 王 |   |   |   | 五 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 |   |   | 王 | 六 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 |   |   | 歩 |   | 皇 | 七 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 皇 |   | 皇 | 八 |
|   |   |   |   |   |   | 香 |   |   | 九 |

持駒 歩

この作品の37手目~60手目をご覧ください。

36手目46玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   |   |   |   | 金 | 銀 |   |   | 皇 | 一 |
|   |   |   |   | 銀 |   | 角 | 歩 |   | 二 |
|   |   |   | 桂 |   | 桂 |   | 桂 |   | 三 |
| 龍 | 龍 | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   | 龍 | 四 |
|   |   | 歩 | 歩 | 皇 |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 王 | 歩 | 王 | 六 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 |   |   |   |   | 皇 | 七 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 皇 |   | 皇 | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩

47歩 45玉 15龍 35香  
46歩 34玉 35歩 33玉  
34歩 42玉 33歩成 同玉

37香 36歩 同香 35歩  
 同香 34歩 同香 同玉  
 14龍 35玉 36歩 46玉

60手目46玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 金 | 銀 |   |   | 皇 | 一 |
|   |   |   |   | 銀 |   | 角 | 歩 |   | 二 |
|   |   |   | 桂 |   | 桂 |   | 桂 |   | 三 |
| 爵 | 爵 | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   | 龍 | 四 |
|   |   | 歩 | 歩 | 皇 |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 王 | 歩 |   | 王 | 六 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 |   |   |   |   | 皇 | 七 |
|   | 歩 | 歩 | 歩 |   | 皇 |   |   | 皇 | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩2

24手掛けて持ち歩を1枚増やした訳ですが、この手順にどのような意義があるのでしょうか。同年9月号に掲載された、神無七郎さんの解説を一部引用します。

~~~~~

従来、香を利用した持駒増幅は、香で香合いを稼ぐ方式だったため、非限定がつきものでした。本局では龍で香合いを稼ぐ2段階式の変換を用いているため、非限定が消えています。

~~~~~

この森さんの作品では、「歩2 香歩3」の2段階の変換をすることにより、24手サイクルの持駒増幅を完全限定で実現したのが特長でした。この持駒増幅機構をもう一工夫したのが七郎さんの次の作品。

神無七郎 Onsite Fairy Mate '06.10  
 協力詰 597手

OFM (<http://www.abz.jp/~k7ro/>)

第115回トップページ出題作品

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 9 |
|   | 角 |   | 金 | 飛 |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 王 |   | 皇 |   |   | 皇 | 銀 | 歩 | 銀 | 二 |
|   | 歩 |   |   | 歩 | 歩 |   | 桂 |   | 三 |
|   |   |   |   |   |   | 歩 |   |   | 四 |
|   |   | 皇 |   | 王 |   | 桂 |   |   | 五 |
|   | 皇 | 桂 | 皇 |   |   |   |   |   | 六 |
|   | 爵 |   |   |   |   |   |   |   | 七 |
|   |   |   |   | 歩 | 皇 |   |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   | 桂 |   | 歩 | 九 |

持駒 なし

89手目~152手目をご覧下さい。

88手目28玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 9 |   |
|   |   |   |   | 金 | 飛 |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 王 |   | 馬 |   |   |   | 皇 | 銀 |   | 銀 | 二 |
|   | 歩 |   |   |   | 歩 | 歩 |   | 桂 |   | 三 |
|   |   |   |   |   |   |   | 歩 |   |   | 四 |
|   |   | 皇 |   |   |   | 桂 |   | 歩 |   | 五 |
|   | 皇 | 桂 | 皇 |   |   |   |   |   |   | 六 |
|   | 爵 |   |   |   |   | 桂 |   |   |   | 七 |
|   |   |   |   | 歩 | 皇 | 歩 | 王 |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩2

- 82馬 37香 29歩 27玉
- 28歩 36玉 37歩 26玉
- 27歩 15玉 イ19香 18歩
- 同香 17歩 同香 16歩
- 同香 同玉 17歩 27玉
- 72馬 37玉 38歩 28玉
- 82馬 37香 29歩 27玉
- 28歩 36玉 37歩 26玉
- 27歩 15玉 ロ16歩 14玉
- 15歩 13玉 14歩 22玉
- 13歩成 同玉 19香 18歩
- 同香 17歩 同香 16歩
- 同香 15歩 同香 14歩
- 同香 同玉 15歩 25玉
- 26歩 同玉 27歩 同玉
- 72馬 37玉 38歩 28玉

152手目28玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 金 | 飛 |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 王 |   | 馬 |   |   | 銀 | 銀 |   | 銀 | 二 |
|   | 歩 |   |   | 歩 | 歩 |   | 桂 |   | 三 |
|   |   |   |   |   |   | 歩 |   |   | 四 |
|   |   | 皇 |   |   |   | 桂 |   | 歩 | 五 |
|   | 皇 | 桂 | 皇 |   |   |   |   |   | 六 |
|   | 皇 |   |   |   | 桂 |   |   |   | 七 |
|   |   |   |   | 皇 | 皇 | 歩 | 王 |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩3

森さんの作品と同じように持ち歩を増やしたいのですが、112手目（イ）の所で16歩と打っても持駒は増えず、千日手に陥ります。ここは、17歩を発生させて、再び15玉となった局面で16歩と突く（口）のが巧い手順。15歩 17歩の歩下げによって、歩1枚節約したのと同じ効果がある訳です。

この機構改良により、森作では「歩2 香 歩3」だったのが、七郎作では「歩4 香 歩3 香 歩5」になり、手数が24手から64手へと約2.7倍に！

如何にも超長編向きなのですが、OFM出題作では歩を稼ぐだけ稼いだ後は左辺で収束してしまうため、手数はたった(?)600手弱。森作のように剥しと掛け合わせるとか、或いは「寿限無」型の再帰手順と組み合わせる等の応用が期待されていました。

そして今回「シェエラザード」が取った構造は前者（持駒増幅×剥し）です。

前置きが酷く長くなりましたが、ここから本手順の解説に入ります。<>内の数字が手数です。

83歩生 76玉 94馬 66玉  
93馬 67玉 68歩 58玉

94馬 48玉 93馬 49玉  
94馬 39玉 93馬 49玉  
94馬 48玉 49歩 47玉  
48歩 46玉 47歩 45玉  
46歩 44玉 45歩 43玉  
44歩 52玉 43歩成 同玉  
44歩 同玉 45歩 55玉  
56歩 同玉 57歩 同玉  
93馬 58玉 <42手>

42手目58玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   | 金 | 銀 | 金 |   |   | 一 |
|   |   |   |   | 銀 | 銀 |   |   |   | 二 |
| 馬 | 歩 | 桂 |   | 桂 |   | 香 | 皇 |   | 三 |
|   |   | 歩 | 歩 |   |   | 歩 | 皇 |   | 四 |
| 王 |   |   | 桂 |   | 歩 |   |   | 歩 | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 六 |
| 角 | 皇 | 桂 |   |   |   | 歩 |   |   | 七 |
| 皇 |   | 皇 | 歩 | 王 | 皇 |   |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | ? | 九 |

持駒 歩

ここまでが序。39歩を残すと剥しに入れず、52歩を残すと持駒を増やせません。

{『94馬 67香 59歩 57玉  
58歩 66玉 67歩 56玉  
57歩 45玉 49香 48歩  
同香 47歩 同香 46歩  
同香 同玉 47歩 57玉  
93馬 67玉 68歩 58玉』 = 『45歩  
47歩』(24手)  
94馬 67香 59歩 57玉  
58歩 66玉 67歩 56玉  
57歩 45玉 46歩 44玉  
45歩 43玉 44歩 52玉  
43歩成 同玉 49香 48歩  
同香 47歩 同香 46歩  
同香 45歩 同香 44歩  
同香 同玉 45歩 55玉  
56歩 同玉 57歩 同玉  
93馬 67玉 68歩 58玉 } = 『持駒増

幅』(64手) <106手>

前置きでも述べたように、64手一組の『持駒増幅』を行う事により、攻方の持ち歩が1枚増えます。

『持駒増幅』×4 <362手>

362手目58玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  | 一 |
| 遊 |   |   | 金 | 銀 | 金 |   |   |   |   |  | 二 |
|   |   |   | 銀 | 銀 |   |   |   |   |   |  | 三 |
| 馬 | 歩 | 桂 |   | 桂 |   | 香 | 香 |   |   |  | 四 |
|   |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   | 歩 | 歩 |  | 五 |
| 王 |   |   | 桂 |   | 歩 |   |   |   |   |  | 六 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  | 七 |
| 角 | 香 | 桂 |   |   |   | 歩 |   |   |   |  | 八 |
| 遊 |   | 歩 | 王 | 歩 |   |   |   |   |   |  | 九 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 王 |  |   |

持駒 歩6

さて、順調に来た人でも、多分この辺りで手が止まったと思います。折角稼いだ歩の使い道、つまりどの駒を剥してどこで収束するのが見当も付かないのです。

## 2) 最終目的

実を申しますと、担当はここで行き詰まったまま出題稿作成期日を迎えてしまったため、結局答えをカンニングしてしまいました。

ではこの謎を自力解者はどう打開したのか、まずはたくぼんさんに訊いてみましょう。

**たくぼん** しばらく考えていたが歩の増幅機構はOFM出題と同じなのでいいとして、収束が全く浮かんでこない。

そして数日後、図をじーっと見ていたらいろいろな鍵があることに気がきました。

初手は83に歩を進める1手だが成生非限定になりそう。

63~72に玉は行ける

29とは動かせる

77桂は浮いている

まず考えたのが玉に77の桂を取らせる桂合させる桂を手持ちにす

る63玉、55桂以下収束させる。というストーリー。しかし考えても考えても77桂は取れない。

次に29とを取って15辺りで収束させるというストーリー。しかしどう考えても詰型が出来ない。

香と歩だけでは詰まないということは他に何かの駒がいる。ここでハタ

と思ひ当たった。香を成らせればい

い。

48香からの開き王手が浮かびました。43の空間が絶妙です。39歩を消去し、29と移動させ玉の通り道をつくりやっ

と開き王手を実現できました。その後収束でしたが、まず成香を鋸で引いて77の地点まで持って来ようとして手数オーバー、ここで閃きました。

初手を不成にして63から72へ追えばいいと。

この評ですっかり担当者は失業状態なのですが(笑)一応整理し直してみますと、

93馬48香 39玉の形から、(開き王手で)43香成と成香を作れば収束の目処が立つ。72玉型で詰ませれば、初手も不成で限定出来そう。

そのためには28玉に対して29歩と打つ必要がある(玉が左辺から侵入する事は出来ない)。

ところが29とが邪魔で29歩が打てない。

よって29と剥しを当面の目標と

する。但し9段目のと金でいきなり移動合いさせるのは無理なので、一旦28に誘き出す必要がある。

以下この方針に基づいて手を進めます。

『45歩 47歩』 <386手>

94馬 67香 59歩 57玉  
 58歩 66玉 67歩 56玉  
 57歩 45玉 46歩 35玉  
 36歩 25玉 28香 同と  
 26歩 34玉 35歩 44玉  
 45歩 55玉 56歩 同玉  
 57歩 同玉 93馬 67玉  
 68歩 58玉 <416手>

416手目58玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 𪛗 |   |   | 金 | 銀 | 金 |   |   |   | 一 |
|   |   |   | 銀 | 銀 |   |   |   |   | 二 |
| 馬 | 歩 | 桂 |   | 桂 |   | 香 | 𪛗 |   | 三 |
|   |   | 𪛗 | 𪛗 |   |   |   | 𪛗 | 𪛗 | 四 |
| 王 |   |   | 桂 |   | 歩 | 歩 |   | 歩 | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 歩 | 六 |
| 角 | 𪛗 | 桂 |   |   |   | 歩 | 𪛗 |   | 七 |
| 𪛗 |   | 𪛗 | 歩 | 王 |   | 𪛗 | 𪛗 |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩

『持駒増幅』×3 <608手>

『45歩 47歩』 <632手>

94馬 67香 59歩 57玉  
 58歩 66玉 67歩 56玉  
 57歩 45玉 46歩 35玉  
 36歩 26玉 27歩 15玉  
 19香 18と 同香 17歩  
 同香 16歩 同香 同玉  
 17歩 25玉 26歩 34玉  
 35歩 44玉 45歩 55玉  
 56歩 同玉 57歩 同玉  
 93馬 67玉 68歩 58玉  
 <672手>

672手目58玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 𪛗 |   |   | 金 | 銀 | 金 |   |   |   | 一 |
|   |   |   | 銀 | 銀 |   |   |   |   | 二 |
| 馬 | 歩 | 桂 |   | 桂 |   | 香 | 𪛗 |   | 三 |
|   |   | 𪛗 | 𪛗 |   |   |   | 𪛗 | 𪛗 | 四 |
| 王 |   |   | 桂 |   | 歩 | 歩 |   |   | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 歩 | 六 |
| 角 | 𪛗 | 桂 |   |   |   | 歩 | 𪛗 | 歩 | 七 |
| 𪛗 |   | 𪛗 | 歩 | 王 |   | 𪛗 |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩

これで漸くと金剥し達成です。

『持駒増幅』×4 <928手>

『45歩 47歩』 <952手>

952手目58玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 𪛗 |   |   | 金 | 銀 | 金 |   |   |   | 一 |
|   |   |   | 銀 | 銀 |   |   |   |   | 二 |
| 馬 | 歩 | 桂 |   | 桂 |   | 香 | 𪛗 |   | 三 |
|   |   | 𪛗 | 𪛗 |   |   |   | 𪛗 | 𪛗 | 四 |
| 王 |   |   | 桂 |   |   | 歩 |   |   | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 歩 | 六 |
| 角 | 𪛗 | 桂 |   |   | 歩 | 歩 | 𪛗 | 歩 | 七 |
| 𪛗 |   | 𪛗 | 歩 | 王 |   | 𪛗 |   |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩5

これで準備完了！

94馬 67香 59歩 57玉  
 58歩 56玉 57歩 45玉  
 46歩 55玉 56歩 66玉  
 67歩 57玉 93馬 67玉  
 94馬 57玉 93馬 46玉  
 49香 48歩 同香 35玉  
 36歩 26玉 27歩 同玉  
 28歩 同玉 29歩 39玉  
 43香成 49玉 94馬 48玉  
 93馬 47玉 48歩 46玉  
 47歩 45玉 46歩 54玉  
 44杏 63玉 54杏 72玉

82歩成 迄 1001手。

詰上図 1001手目82歩成 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |  |
| 一 | 遊 |   |   | 金 | 銀 | 金 |   |   |   |  |
| 二 |   | と | 王 | 銀 |   | 銀 |   |   |   |  |
| 三 | 馬 |   | 桂 |   | 桂 |   | 香 | 雫 |   |  |
| 四 |   |   | 歩 | 歩 | 杏 |   |   | 歩 | 歩 |  |
| 五 | 王 |   |   | 桂 |   |   |   |   |   |  |
| 六 |   |   |   |   | 歩 | 歩 | 歩 |   |   |  |
| 七 | 角 | 雫 | 桂 |   |   |   | 歩 |   | 歩 |  |
| 八 | 遊 |   | 皇 |   |   |   | 皇 |   |   |  |
| 九 |   |   |   |   |   |   |   | 歩 |   |  |

持駒 なし

**市村** 増やした持駒の使い方を考えて居る内に、素晴らしい大妙手が閃きました。48 43への大ジャンプは、アリババの“オープンセサミ”と同様の感動でした。

**真T** 歩を増やしたところで目的が分からず途方に暮れていたなら、15歩と29とが怪しい配置であることに気づきました。そうしたら、一気に見えました。謎解きを満喫できました。ありがとうございました。

**たくぼん** かなり苦しんだ分解けたときの喜びは倍増。謎解きを十分に楽しませてくれました。とにかく駒を目一杯働かせてぎりぎりの配置で創られておりこれもまた感嘆しました。こんな作品に巡り会えてよかった。ありがとうございました。

**作者** 元々は森茂氏生前の最後の出題となった1965手詰に倣い、「持駒増幅」×「はがし」を目標に作り始めたものですが、初手の伏線が気に入ったので、そちらを中心にまとめてみました。

命名は有名な千一夜物語のヒロインの名前で、リムスキー・コルサコフの交響組曲の題名としても知られています。

初手の歩不成から始まる本局の謎

解きは実に素晴らしく、最後にそれらを束ねる985手目43歩成の切れ味は抜群。そして自力解者が揃って感動・感謝の意を述べている事こそが、伏線を重視した創作方針が成功を収めた証左でしょう。

同時に、本局を一点の曇りもない完璧な作品と書いたら嘘になりますので、そこにも触れておきます。

**作者** 「持駒増幅」×「はがし」の作品を「非限定なし」の条件下で作るのは、非常に難しいことです。1枚はがすたびに持駒の数が増えるため、手が進むにつれて、持駒増幅の回数やタイミングをコントロールするのが困難になるからです。本作でも、さまざまな「はがし」のパターンを盛り込みたかったのですが、ことごとく非限定で潰え去りました。この作品を創作した今なら、森茂氏があの1965手詰を自ら「会心作」と呼んだ理由を、理屈でなく実感として理解できます。よく「詰将棋は実際に解かないと（手順を並べるだけでは）理解できない」という言葉を目にしますが、「詰将棋は実際に作らないと（解くだけでは）理解できない」という方が、より真実に近い気がします。

創作の困難を（理屈で）承知の上ですが、個人的には29との剥し方が普通に見えてしまうのは否めない所です。

この解説を書くにあたって、七郎さんに「この持駒増幅機構にまだ発展の余地はありそうでしょうか？」と質問してみました。それに対する回答を最後に収録しておきます。

**作者** この作品の持駒増幅機構は、歩の打場所として3つの筋を利用してあります。当然、4つの筋、5つの筋……と増やして行くことが考えられ

ますが、盤の狭さや手順限定の困難さが壁となってきます。この路線で行く場合、馬を利用した持駒増幅だとどうしても幅を取るのので、飛などの駒で代用する仕組みを考える必要があるでしょう。今回は時間の関係もあったのですが、持駒増幅それ自体よりも、それを利用した応用部分の方に創作の主眼を置いたので、この点については調査不足です。

(中略)

いろいろ書きましたが、持駒増幅機構それ自体も、その利用方法についても実現したことより、やり残したことの方がはるかに多いというのが実感です。

## C 2 T E T S U

協力詰 10853手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |  |
|   | 銀 |   | 兎 |   | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 |  |  |
| 銀 | 兎 | 香 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 |  |  |
|   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 | 王 |  |  |
|   | マ | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 |  |  |
| 歩 |   |   |   |   |   |   |   | と |  |  |
|   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |  |  |
|   |   | 歩 |   |   | 歩 |   |   |   |  |  |
| 歩 |   |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |  |  |
|   | 歩 |   |   |   |   |   |   |   |  |  |

持駒 歩4

正 2

こちら作品の構造から説明する事にします。

### 1) 「寿限無」型再帰手順

本局が何故1万余手の長手数を実現したかと言えば、ひとえに「寿限無」型再帰手順のお陰です。協力詰の最長手数記録保持作品「寿限無」、そして完全限定の最長記録「龍の顎」でも利用されている有名な機構ですが、この際改め

て確認しておきましょう。

加藤徹 詰パラ '75.09( '76.04改訂)  
協力詰 19447手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 歩 | 歩 |
|   | 王 | 角 |   | 兎 |   |   |   | 歩 | 香 |   |
|   | 金 | 香 |   |   |   |   | 歩 | 歩 |   |   |
| 王 |   | 皇 |   |   |   |   | 歩 |   | 歩 |   |
|   | 歩 | 歩 | 歩 |   | 歩 |   | 歩 |   |   |   |
|   |   |   | 歩 | 歩 |   | 歩 |   |   |   |   |
|   |   | 歩 |   |   | 歩 |   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

持駒 なし

「寿限無」

森茂 詰パラ '04.12

協力詰 12555手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 歩 | 皇 | 皇 |
| 銀 | 金 | 金 |   | 歩 |   | 歩 | 王 | 龍 | 龍 | 歩 |
|   | 香 | 歩 | 歩 |   | 歩 | マ |   |   | 歩 |   |
|   | 歩 | 歩 |   | 歩 | マ |   |   |   | 歩 |   |
|   |   |   | 歩 |   | マ |   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   | 王 |   |   |   | マ |   |
|   | 歩 |   |   |   |   | 歩 |   |   |   |   |
| 歩 |   |   |   | マ | 歩 | マ | 皇 | 桂 |   |   |
|   |   | 歩 |   | 歩 | マ |   |   | マ |   |   |

持駒 桂歩

「龍の顎」

尚、記録はどちらも正式発表作品に限った場合です。未発表作も含めて知りたい方は、OFMの中にある『「龍の顎」補足情報』

(<http://www.abz.jp/~k7ro/report/agito.html>) をご覧下さい。

T E T S U

協力詰 4137手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |   |
|   | 銀 |   | 銀 |   |   |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 銀 | 銀 |   | 馬 | 王 |   |   | 金 | 銀 | 金 | 二 |
| 歩 | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 三 |
|   | 歩 | 歩 | 王 |   | と |   |   |   |   | 四 |
| 歩 |   | 歩 | 皇 |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 歩 | 皇 |   |   |   |   |   | 六 |
|   |   | 歩 |   | 歩 |   |   |   |   |   | 七 |
|   |   |   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   | 皇 | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   | 皇 | 九 |

持駒 歩2

これはC2の原図の1つです。  
この作品の最終目標は84成桂を剥す事なのですが、そのためには次のような形を作る必要があります。

4094手目55玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |   |
|   | 銀 |   | 銀 |   |   |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 銀 | 銀 |   | 馬 | 王 |   |   | 金 | 銀 | 金 | 二 |
| 歩 | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 三 |
|   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   |   |   | 四 |
|   |   | 歩 | 皇 | 王 |   |   |   |   |   | 五 |
|   |   |   | 歩 |   | 皇 | 歩 |   |   |   | 六 |
| 歩 |   |   |   | 歩 |   |   |   |   | 歩 | 七 |
|   | 歩 |   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   | 皇 | 八 |
|   |   | 歩 |   |   |   |   |   |   | 皇 | 九 |

持駒 香歩3

- 56歩 同玉 57歩 同玉
- 58歩 68玉 69歩 77玉
- 78歩 86玉 87歩 95玉
- 96歩 94玉 95香 同圭
- 同歩 85玉 86歩 76玉
- 77歩 67玉 68歩 56玉
- 57歩 45玉 (以下略)

このように7~9筋の歩を2段ずつ下げ、行きも帰りも(打たずに)突く事によって歩を節約し、目的を達するのです。

4120手目45玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |   |
|   | 銀 |   | 銀 |   |   |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 銀 | 銀 |   | 馬 | 王 |   |   | 金 | 銀 | 金 | 二 |
| 歩 | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 三 |
|   |   | 歩 |   |   |   |   |   |   |   | 四 |
| 歩 |   | 歩 | 皇 |   | 王 |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 歩 | 皇 | 歩 |   |   |   |   | 六 |
|   |   | 歩 |   | 歩 |   |   |   | 歩 |   | 七 |
|   |   |   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   | 皇 |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 皇 |   | 九 |

持駒 桂

ではどのように歩を下げれば良いかですが、

134手目55玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |   |
|   | 銀 |   | 銀 |   |   |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 銀 | 銀 |   | 馬 | 王 |   |   | 金 | 銀 | 金 | 二 |
| 歩 | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 三 |
|   |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   |   | 四 |
| 歩 |   | 歩 | 皇 | 王 |   |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 歩 |   | 皇 |   |   | 歩 |   | 六 |
|   |   | 歩 |   | 歩 |   |   |   |   |   | 七 |
|   |   |   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   | 皇 |   | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 皇 |   | 九 |

持駒 香歩3

この図は初形から持駒増幅を一通り終えた局面です(持駒増幅機構はC2と殆ど同じなので割愛)。まず7筋の歩下げを行います。

- 56歩 同玉 59香 58歩
- 同香 57歩 同香 同玉
- 58歩 68玉 69歩 77玉
- 78歩 67玉 68歩 56玉
- 57歩 45玉

一足飛びに2段下げる事は出来ないで、まずは77歩 78歩。但し玉が8筋に行くためには79歩型でないと困りますので、次に78歩 79歩を行います。プロセスは

152手目45玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 |   | 銀 |   |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 銀 | 銀 |   | 馬 | 王 |   | 金 | 銀 | 金 | 二 |
| 歩 | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 桂 |   | 歩 | 三 |
|   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   |   | 四 |
| 歩 |   | 歩 | 皇 |   | 王 |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 歩 |   | 皇 |   | 歩 |   | 六 |
|   |   |   |   | 歩 |   |   |   |   | 七 |
|   |   | 歩 | 歩 |   | 歩 | 歩 |   | 皇 | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 皇 | 九 |

持駒 歩2

77歩 78歩と殆ど同じで、違うのは「69歩、77玉、78歩、67玉」が「69歩、78玉、79歩、67玉」になるだけです。

434手目55玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 |   | 銀 |   |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 銀 | 銀 |   | 馬 | 王 |   | 金 | 銀 | 金 | 二 |
| 歩 | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 桂 |   | 歩 | 三 |
|   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   |   | 四 |
| 歩 |   | 歩 | 皇 | 王 |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 歩 |   | 皇 |   | 歩 |   | 六 |
|   |   |   |   | 歩 |   |   |   |   | 七 |
|   |   | 歩 |   |   | 歩 | 歩 |   | 皇 | 八 |
|   |   | 歩 |   |   |   |   |   | 皇 | 九 |

持駒 香歩3

この図は78歩 79歩と、その後の持駒増幅が済んだ局面。ここから86歩 87歩を目指します。

56歩 同玉 59香 58歩  
 同香 57歩 同香 同玉  
 58歩 68玉 69歩 77玉  
78歩 86玉 87歩 76玉  
77歩 67玉 68歩 56玉  
 57歩 45玉

確かに86歩 87歩は実現しましたが、代償として7筋が79歩 77歩と逆戻りしてしまいました。

456手目45玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 |   | 銀 |   |   | 金 | 銀 | 金 | 一 |
| 銀 | 銀 |   | 馬 | 王 |   | 金 | 銀 | 金 | 二 |
| 歩 | 歩 | 桂 |   |   | 歩 | 桂 |   | 歩 | 三 |
|   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   |   | 四 |
| 歩 |   | 歩 | 皇 |   | 王 |   |   |   | 五 |
|   |   |   | 歩 |   | 皇 |   | 歩 |   | 六 |
|   |   | 歩 | 歩 |   | 歩 |   |   |   | 七 |
|   |   |   |   | 歩 |   | 歩 | 歩 | 皇 | 八 |
|   |   |   |   |   |   |   |   | 皇 | 九 |

持駒 歩2

という事は87歩 88歩の前に、再度77歩 78歩 79歩をやり直さなければならぬ事になります。

その後ですが、87歩 88歩を実現した後も、再び79歩 77歩になってしまうので、7筋の歩下げはやり直しです。

更に88歩・79歩型から95歩 96歩とすると、86歩・77歩型に戻ってしまうので、またもや8・7筋の歩下げはやり直し...

これが「寿限無」型再帰手順の原理です。手っ取り早く言えば、歩1枚で手数を3倍化する機構という訳で、実に超長編向きと言えるでしょう。

それでは、C2の解説に入ります。

24と 同玉 25歩 同玉  
 26歩 36玉 63馬 26玉  
 62馬 27玉 28歩 18玉  
 <12手>

ここから44手1サイクルの持駒増幅に入ります。

12手目18玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 一 |   | 銀 |   | 進 |   | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 王 |
| 二 | 銀 | 進 | 香 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 |   |
| 三 |   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 |   |   |
| 四 |   | 歩 | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 |   |
| 五 | 歩 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 六 |   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   |
| 七 |   |   | 歩 |   |   | 歩 |   |   |   |   |
| 八 | 王 |   |   | 歩 | 歩 |   |   | 歩 | 王 |   |
| 九 | 王 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

持駒 歩

{『63馬 27香 19歩 17玉  
18歩 16玉 17歩 15玉  
16歩 26玉 27歩 16玉  
19香 18歩 同香 17歩  
同香 同玉 62馬 26香  
18歩 16玉 17歩 15玉  
16歩 25玉 26歩 36玉』 = 『A』  
(28手)  
63馬 26玉 62馬 16玉  
19香 18歩 同香 17歩  
同香 27玉 63馬 17玉  
62馬 27玉 28歩 18玉} = 『持駒  
増幅』(44手) <56手>  
『持駒増幅』 <100手>

100手目18玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 一 |   | 銀 |   | 進 |   | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 王 |
| 二 | 銀 | 進 | 香 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 |   |
| 三 |   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 |   |   |
| 四 |   | 歩 | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 |   |
| 五 | 歩 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 六 |   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   |
| 七 |   |   | 歩 |   |   | 歩 |   |   |   |   |
| 八 | 王 |   |   | 歩 | 歩 |   |   | 歩 | 王 |   |
| 九 | 王 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |

持駒 歩3

歩を3枚使って4枚稼ぎ、結果的に歩1枚増やしています。  
ところで、100手目の局面からこれ以上『持駒増幅』をリピートして

も意味がありません。そろそろ歩下げに入る方法を考えなければいけないのですが...

2) 一步不足の謎

たくぼん トリックが見破れない。時間切れです。無念。

真T C2は解けませんでした。10000手超なんて滅多に解く機会がないので、解きたかったのですが残念です。全体の約1%しか手が進んでいないこの辺りが、実は本局最大の難関です。  
何故なら、現状では持ち歩の上限が5枚なのに、歩下げに4枚、右辺での香補給に2枚がどうしても必要なので、普通に歩下げに入ろうとしても手詰まりに陥るのです。逆に言えば、歩を1枚節約するか捻り出すかすれば道が開けるのですが、これが言うほど簡単ではありません。担当が嵌った紛れの内、主要なものを挙げてみましょう。

47歩を49に下げる。(49歩型のままで玉を右辺に戻す事が出来ない)

47歩を46や45に突き出して、同玉と取る。(馬筋が悉く不都合で駄目)

5・6筋で工夫する。(歩下げ位しか手段が無いが、それも後ろに1段しかないので無意味)

1・2筋で工夫する。

市村 1・2筋での燃料補充が旨く行かず、走行が出来ません。

持駒歩5、持駒香歩3は途中で燃料切れ。

持駒香歩3で、28・19に歩を残せば、走行可能ですが、実現不能。

持駒歩4で、攻方18香、玉方16

玉・17歩は、実現と走行出来ませんがスタート不能。

これ以上の思考の継続を断念します。という事情で、上記 ~ はいずれも僅かに届きません。

では、どうすればこの謎を解く事が出来るのでしょうか。「これ以上の思考の継続」を再開して下さった市村さんにご登場頂きます。

市村 本局の主題は、持駒変換での一步不足の解消方法と手数短縮のテクニックにあります。

最初は、49歩での一步不足解消を考えましたがこれは駄目。盤面を隅から隅まで見て47歩に気付き、玉での消去を試みましたが、これも不能。最後に、窮余の一策として、まさかと思いながら考えたのが成香に頼る手段です。

{『A』

- 63馬 26玉 62馬 16玉
- 19香 18歩 同香 17歩
- 同香 27玉 63馬 17玉
- 62馬 26香 18歩 同玉
- 63馬 27香成 19歩 17玉
- 62馬 26杏 18歩 同玉
- 63馬 36杏 19歩 27玉
- 28歩 26玉 27歩 25玉
- 26歩 35玉 62馬 45玉
- 46歩 同杏

166手目46同成香 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 |   | 𨔵 |   | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 | 一 |
| 銀 | 𨔵 | 香 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 |   | 二 |
|   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 |   |   | 三 |
|   | ㄨ | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 |   | 四 |
| 歩 |   |   |   |   | 王 |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 |   |   | 歩 |   | 六 |
|   |   | 歩 |   |   |   |   |   |   |   | 七 |
| 𨔵 |   |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   | 八 |
|   | 𨔵 |   |   |   |   |   |   |   | 歩 | 九 |

持駒 歩

- 63馬 35玉 62馬 36玉
- 63馬 26玉 62馬 27玉
- 63馬 36杏 28歩 26玉
- 27歩 17玉 62馬 26杏
- 18歩 16玉 17歩 15玉
- 16歩 25玉 26歩 16玉
- 19香 18歩 同香 17歩
- 同香 27玉 63馬 26玉
- 62馬 27玉 63馬 17玉
- 62馬 27玉 28歩 18玉 } = 『47歩消去』(106手) <206手>

206手目18玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 |   | 𨔵 |   | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 | 𨔵 | 一 |
| 銀 | 𨔵 | 香 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 |   | 二 |
|   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 |   |   | 三 |
|   | ㄨ | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 |   | 四 |
| 歩 |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 𨔵 | 𨔵 |   |   |   |   |   | 六 |
|   |   | 歩 |   |   |   |   |   |   |   | 七 |
| 𨔵 |   |   | 歩 | 歩 |   |   |   | 歩 | 王 | 八 |
|   | 𨔵 |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩

これがマジックの仕掛けです。普通、合駒を発生させるには攻方の持駒が大量に必要で、ただでさえ持ち歩の少なさが懸案の局面にあっては論外なのですが、本局の場合は歩の枚数がピッタリ間に合っています。

しかもそれによって持駒増幅が一から出直しになるため手数が約2倍に！

何とも都合の良い手順があったものです。

尚、市村さんは142手目以降を次の手順で47歩消去を行っていました。

- 26香 18歩 同玉 63馬
- 27香成 19歩 17玉 62馬
- 26杏 18歩 27玉 63馬
- 36杏 28歩 26玉 27歩

35玉 62馬 45玉 46歩  
 同杏 63馬 35玉 62馬  
 36玉 63馬 25玉 26歩  
 同玉 62馬 27玉 63馬  
 36杏 28歩 26玉 27歩  
 16玉 17歩 同玉 62馬  
 26杏 18歩 16玉 17歩  
 25玉 26歩 36玉 63馬  
 26玉 62馬 15玉 16歩  
 同玉 19香 18歩 同香  
 17歩 同香 27玉 63馬  
 17玉 62馬 27玉 28歩  
 18玉 <206手>

作意と同手数の非限定順ですので、  
 勿論これでも正解です。  
 さて、これでやっと歩下げに入れる  
 見通しが立ちました。

『持駒増幅』×3 <338手>  
 『A』 <366手>

63馬 47玉 48歩 58玉  
 59歩 68玉 69歩 77玉  
 78歩 67玉 68歩 57玉  
 58歩 46玉 47歩 35玉  
 62馬 36玉 63馬 26玉  
 62馬 16玉 19香 18歩  
 同香 17歩 同香 27玉  
 63馬 17玉 62馬 27玉  
 28歩 18玉 <400手>

400手目18玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 |   | 香 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 | 一 |
| 銀 | 香 |   |   |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 |   | 二 |
|   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 |   |   | 三 |
|   | 王 | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 |   | 四 |
| 歩 |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   | 六 |
|   |   |   |   |   | 歩 |   |   |   |   | 七 |
| 王 |   | 歩 | 歩 | 歩 |   |   |   | 歩 | 王 | 八 |
| 王 |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩

これで歩の下げ方はわかったので、  
 一気に手を進める事にしますが、  
 手順を細かく書いていると紙数が  
 膨大になるので、手順の表記はご  
 く簡略にとどめます。

78歩 79歩 <788手>  
 86歩 87歩 <1180手>  
 77歩 78歩 79歩 <1956手>  
 87歩 88歩 <2348手>  
 77歩 78歩 79歩 <3124手>  
 95歩 96歩 <3520手>  
 77歩 78歩 79歩、86歩 87歩  
 <4688手>  
 77歩 78歩 79歩、87歩 88歩  
 <5856手>  
 77歩 78歩 79歩、96歩 97歩  
 <7028手>  
 77歩 78歩 79歩、86歩 87歩、  
 77歩 78歩 79歩、87歩 88歩、  
 77歩 78歩 79歩 <10140手>

10140手目18玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 |   | 香 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 | 一 |
| 銀 | 香 |   |   |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 |   | 二 |
|   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 |   |   | 三 |
|   | 王 | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 |   | 四 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   |   |   |   | 歩 | 歩 |   |   |   |   | 六 |
| 歩 |   |   |   |   |   | 歩 |   |   |   | 七 |
| 王 |   | 歩 |   | 歩 | 歩 |   |   | 歩 | 王 | 八 |
| 王 |   | 歩 |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩

これで漸く歩下げ終了。84とを剥  
 しに行きます。

『持駒増幅』×2 <10228手>  
 『47歩消去』 <10334手>  
 『持駒増幅』×3 <10466手>  
 『63馬 27香 19歩 17玉  
 18歩 16玉 17歩 15玉  
 16歩 26玉 27歩 16玉

19香 18歩 同香 17歩  
 同香 同玉 62馬 26香  
 18歩 16玉 17歩 25玉  
 26歩 36玉』 = 『B』(26手)

<10492手>

63馬 47玉 48歩 58玉  
 59歩 68玉 69歩 77玉  
 78歩 86玉 87歩 95玉  
 96歩 94玉 95香 同と  
同歩 85玉 86歩 76玉  
 77歩 67玉 68歩 57玉  
 58歩 46玉 47歩 35玉  
 62馬 36玉 63馬 26玉  
 62馬 27玉 63馬 17玉  
 62馬 27玉 28歩 18玉

<10532手>

10532手目18玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 銀 | 銀 | 香 | 馬 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 一 |
| 銀 | 銀 | 香 | 馬 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 二 |
|   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 |   | 三 |
|   |   | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 | 四 |
| 歩 |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 香 | 香 |   |   |   |   | 六 |
|   |   | 歩 |   |   | 歩 |   |   |   | 七 |
| 香 |   |   | 歩 | 歩 |   |   | 歩 | 王 | 八 |
| 香 |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩

これで一件落着。

ではなく、この辺りが本局最後の  
 考え所です。

市村 収束では、香歩5の持駒で一  
 気に寄せるのがこの局の流れですが、  
 大幅な手数超過。見事に裏をかかれ  
 て、手数の短縮に紆余曲折しました。

『持駒増幅』×3 <10664手>

『A』 <10692手>

63馬 47玉 48歩 58玉  
 59歩 68玉 69歩 57玉  
 58歩 46玉 47歩 35玉  
 62馬 36玉 63馬 26玉

62馬 16玉 19香 18歩  
 同香 17歩 同香 27玉  
 63馬 17玉 62馬 27玉  
 28歩 18玉 <10722手>

68歩 69歩に替えて、58歩 59歩で  
 も同手数で詰む(キズ)。

10722手目18玉 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 |   | 銀 |   | 香 | 香 | 香 | 香 | 一 |
| 銀 | 銀 | 香 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 | 二 |
|   | 桂 | 香 |   |   | 桂 |   | 銀 |   | 三 |
|   |   | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 | 四 |
| 歩 |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   | 歩 |   | 香 | 香 |   |   |   |   | 六 |
|   |   | 歩 |   |   | 歩 |   |   |   | 七 |
| 香 |   |   |   | 歩 |   |   | 歩 | 王 | 八 |
|   | 香 |   | 歩 |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩2

結果論から書くと、玉は93で詰ま  
 すのが正解。

という事は、復路での持駒不足を  
 心配する必要がなくなりましたの  
 で、最後だけは歩を1段だけ下げ  
 れば良いのです。

『持駒増幅』×2 <10810手>

『B』 <10836手>

63馬 47玉 48歩 58玉  
 59歩 67玉 68歩 77玉  
 78歩 86玉 87歩 85玉  
 86歩 84玉 85歩 93玉  
 94香 迄 10853手。

作者 森さんの作品は非限定がない  
 のと、普通に追ったのでは手数をか  
 けても詰まない謎解きの要素が含ま  
 れているのが特徴。非限定をなくす  
 のは無理なので、謎解きの要素を加  
 えてみました。

市村 この局ですが、成香による一歩  
 不足解消を発見するのに5日間、手

順の整理に2日間、手順の超過に気付いて、手数短縮に要した日数が6日間、約半月に亘る苦吟の連続でした。

無解者の立場からすると、本局を半月で解くのは“苦吟”の内ではないと思いますよ(笑)

詰上図 10853手目94香 迄

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|   | 銀 | 香 | 香 | 馬 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 一 |
| 銀 | 香 | 香 | 馬 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 二 |
| 王 | 桂 | 香 | 馬 | 桂 | 桂 | 桂 | 桂 | 桂 | 桂 | 三 |
| 香 | 香 | 香 | 王 | 桂 | 桂 | 桂 | 桂 | 桂 | 桂 | 四 |
| 歩 | 歩 |   |   |   |   |   |   |   |   | 五 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 六 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 七 |
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 八 |
| 香 |   | 歩 | 歩 | 歩 |   |   |   |   |   | 九 |
|   | 香 |   |   | 歩 |   |   |   |   |   |   |

持駒 なし

ところで、本局を見ていて当然興味が湧くのは、

市村 攻方4筋の歩を成香で消去するこの構想と手順は、力感に溢れ且つ美しく、どこからこの様な発想が湧き出するのか、全くの驚異です。

問い合わせてみました。

作者 本局の原図を作っていたとき(30年ぐらい前)まず右辺の歩稼ぎ手順を作り、たくさん歩をとって左辺でどう展開するか考えていました。結局、寿限無型で展開することにしたわけですが、この型は歩が余分にあると簡単になってしまうので、1歩だけしか使えないように少しずつ手順を工夫して稼げる歩の枚数を減らしていきました。

今回の図を作ったときも同様に歩を減らしていったのですが、森さんの追悼作品展なので、更にもう1歩減らしたら、きっとおもしろい手順になって、いい謎解きになると思ったのです。

可能性のあるのは47歩消去だけです、玉で取っては消去できないので、取る駒を発生させる必要があります。これも可能性があるのは2筋で合駒させる香を成香にして取りにくることだけ。

最初は、2筋と4筋で離れているし、4筋の歩を取らせたあとまたその香を取り返さなければならぬので、歩が足りないと思ったのですが、いろいろやってみたら、最大限歩を稼いだときにぴったり47歩を消去できることがわかりました。消去のため歩を使ってしまうので、また稼ぎなおさなければならず、手数も大幅に伸びました。

ということで、歩をぴったり使う消去手順は創作というより発見で、この手順が存在したことは妖精の贈り物かもしれません。

並みの創作力ではそもそも「発見」すら出来ないですね。

市村 詰めた後では、“難解だがパズル解きの醍醐味が満喫出来て楽しかった”と嘯いて見たくなるものです。詰後の感想を解答の末尾に書いていますが、これはほんの要点だけで、まだお伝えしたい事は其の何倍にも達します。

詰将棋が世界に誇れる優れたパズルであるとの確信を深めるとともに、このような神秘的な手順を創作された作者に敬意を表する次第です。

と、市村さん大絶賛の本局ですが、この構想の“作者”が、どうやらもう1人いるようなのです。

橋本 本局の目玉は合駒に47歩を取らせるトリックですね。森茂「龍の顎」で、4筋の歩が消える機構があったのを思い出しますが、それを更にひとひねりした感じです。

実は私も「シェエラザード」を作っているときに、この47歩消去の筋(あ

るいはそれに類する筋)を何とか入れられないか、死ぬほど考えました。手順の完全限定を重視したため、結局それは実現できなかったのですが、そのおかげでこの作は見た瞬間ほぼ(手数は数えなくてはいけません)理解できました。

たとえ形にならなくても、いろいろな筋を追求しておくことは、無駄にはならないんですね。

「シェエラザード」の解説の最後で作者の言葉を引用した際、「(中略)」とした部分がありましたが、そこにはこう書いてありました。

~~~~~

逆に、筋を減らして2つの筋で持駒増幅ができれば、増幅機構自体ではなくそれを利用した2次プロットの方に凝ることができます。

実際その路線でC2と全く同じ機構を思いついた(成香による置駒消去も含めて)のですが、非限定を消す方法までは見つけれませんでした。非限定を甘受すれば、「シェエラザード」の持駒増幅機構でも、成駒発生置駒消去の手順が入れられますし、歩の枚数が18枚でなくもっと沢山あれば、3つの筋のうち、真ん中の筋で成駒を作ることが可能です。これを、非限定なしに歩18枚の制約の中で実現できないか、ということも随分考えたのですが、結局挫折しています。

~~~~~

お二人の作風の違いが端的にわかるエピソードですね。

非限定という点で行くと、個人的には特に最後の歩下げ(5・6筋どちらでも可)が、詰上りにも影響するので若干気になる所です。

またTETSUさんは次の点を気になさっていました。

作者 最初は左下隅の金を入手して

詰める予定だったんですが、どうやっても取れないので、左上でシンプルに詰めてしまいました。そこが不満なので、もう少し改良してみたのが下図です。

### C2改良案

協力詰 12693手

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| 馬 |   |   |   | 金 | 金 | 歩 | 銀 | 歩 |   | 一 |
|   |   |   | 金 | 馬 |   | 金 | 歩 | 金 | 銀 | 二 |
| 爵 | 歩 | 飛 |   |   |   | 桂 | 王 | 銀 |   | 三 |
|   | ? | 香 | 王 |   |   | 桂 |   | 桂 |   | 四 |
| 歩 |   |   |   |   |   |   |   | と |   | 五 |
|   | 歩 |   | 皇 | 皇 |   |   |   |   |   | 六 |
|   |   | 歩 |   |   | 歩 |   |   |   |   | 七 |
| ? |   |   | 歩 | 歩 |   | 歩 |   |   |   | 八 |
| 手 |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 九 |

持駒 歩4

8 4 とを取るまでは同じで、そのあと9 8 と、9 9 圭と取って還元玉で収束。こちらはnfmで検討できなかったなので、最短かどうか分かりません。

出来ればこちらの図で出題したかったのですが、今回は安(完)全性を優先しました。今後の研究が待たれます。

また、市村さんからはこのようなご質問を頂きました。

市村 ところで、持駒香歩3から持駒香歩4にするために、つまり歩1枚を増やすために、2 3 8 手もの手数を掛ける。これは新記録では?

文脈からすると47歩消去を意識してらっしゃるようですので、もっと細かく定義すると「盤上の歩やと金を一旦受方に取らせる事で、攻方の駒台に置く事が出来る歩の枚数を増やす」でしょうか。

過去作に疎いもので、本局がレコードかどうかは確かめられませんが、「盤上の歩やと金を一旦受方に取らせる事で、その駒を攻



- 【9題】 たくぼん
- 【8題】 市村道生
- 【7題】 伊達悠
- 【6題】 北村太路
- 【5題】 隅の老人B
- 【4題】 小林看空
- 【3題】 冬眠蛙

別に申し合わせた訳ではない筈ですが…。何とも不思議な結果です。因みに、今回コメント無し解答はゼロでした！ 改めて解答者の皆様に御礼申し上げます。

### 編集後記

今回やってみて、幾つか提言したい事はありますが、ここでは1点だけ触れておきます。

担当をやってみるのは、いろいろな意味でとても有益な事です。しかし僕のように詰将棋歴・フェアリー歴が浅いと、「龍の顎」ですら後追いなので、過去作を調べなければならなくなった時にお手上げです。

本来これは過去の名作に触れる絶好の機会なのですが、現状では残念ながら、逆に新人が担当就任を躊躇する原因になっていると思われれます。よってこの際、フェアリーデータベースの早期完成を切に要望致します。

いずれにしても、今回はとても楽しく担当を務める事が出来ました。これも関係者の皆様のご支援ご協力と、今日のフェアリー界の礎を築いて下さった森さんのお陰です。本当に有り難うございます。

2007年3月29日 小峰耕希